

欠席委員の意見概要とその対応方針

	意見	対応方針
1	目指すべき観光地の姿の3つをひと言でいうと何なのか、メインタイトル(基本コンセプト)を考え抜くことは、犬山市の観光を支える各団体間での合意、方向性の共有を図る上でとても大事。「犬山らしさ」を表現しながら、「欧米など世界に目を向ける」であったり、「城下町文化」を訴求するものだったり、「木曾川あつての犬山」という切り口でも良いと思う。他の地域にはない「尖がった部分」が出ているもの。	今後の観光戦略会議及び専門部会の議論を踏まえて検討します。
2	「基本的な施策の方向性」に MICE を項目立てしてもよいと思う。今までと違うところを見ていくという表示にもなる。この地域は製造業が多く、犬山は名古屋にも近いので、MICE の可能性は高いと思う。中でも“I(アイ)”のインセンティブは、インディゴができることで、より検討の価値が高くなる。誰が担うのか、人材育成が大事になるところ。	観光施策として大事になっていくものだと思いますが、今まで MICE について取り組んでおらず、現時点で必要な体制、資源を把握していないため、現時点では柱となる方向性に位置付けず、今後、観光戦略会議及び専門部会での議論を踏まえて検討します。
3	犬山らしい景観整備の視点をもう少し強く出しても良いと思う。城下町のルールであったり、自然景観のことであったり。「地域ルール」、軽井沢はセブンイレブンですら夜 11 時までの営業。	「景観整備」「統一ルール」については城下町の課題の一つとなっており、詳細は景観計画、歴史的風致維持向上計画等で決めていくとしても、観光戦略においても位置付ける必要があると考えます。
4	木曾川河畔のにぎわいには宿泊施設の誘致も重要だが、人を惹きつける店舗がまず始めにあると良い。飲食店の誘致などを行政でやっている事例もある。食べ物重要。	現状の施策アイディア(例)の「1-②夜間のにぎわいの創出」や「3-②老舗になりうる店舗の誘致」などで推進していく予定です。
5	ブランド形成していくときのコントロールは誰がやるのか。一度ブランド形成されれば、すごく楽になる(ロイヤルティ)。外向けの部分はある程度外注に頼っても良い部分。	戦略の目的に「持続可能なブランドへと向上」を掲げていますので、今後の観光戦略会議及び専門部会での議論を踏まえ検討します。
6	地場産品を活用する店舗を広げていくことは必要。過去の鉤路の観光客調査で、地場のものだったら2～3割高くても良い。という結果もあ	今後の観光戦略会議及び専門部会での議論を踏まえ検討することとし、個別具体的な手法について

	る。北海道美瑛町の白金温泉では、各店舗の地産地消率を出して掲示している。食もそこでき体験できないコンテンツになると良い。	は、策定後も引き続き検討していくものと考えます。
7	市民の参加促進では、「民泊」が広がっていけば、市民の直接的なメリットとなる。現在の日本の「農泊」にはおしやれさがない。農作業体験だけではホントに一部の客しか取り込めない。また、市民を巻き込んでいくためにも、市民が観光施策のチェック機能となるような仕掛けがあると良い。	既に実験的にイベント民泊を実施していますが、今後の観光戦略会議及び専門部会での議論を踏まえて検討します。
8	料理人は敬われるべき存在。料理人を鼓舞し、勉強会を開くなどし、食のレベルアップをしていく必要がある。それが、地域の産品を使うこと、または作ることに繋がっていく。スペイン・サンセバスチャンのバルみたいに1店舗あたり短い時間で複数店舗回ってもらうような形態は犬山でもアリだと思う。	今後の観光戦略会議及び専門部会での議論を踏まえ検討することとし、個別具体的な手法については、策定後も引き続き検討していくものと考えます。
9	よくある手になってきているが、今までの印象と変えていくには現代アートを用いるのは有効な手となり得る。	現代アートではないが、国際交流村での彫刻村開催。下本町ではクリエイターが住み始めるなど、少しずつアートの芽が犬山でも出てきていると認識していますので、それらを観光に活かす手法を研究します。
10	観光への経費は投資ということになり行政として難しい部分がある。例えば、その財源として松江市は宿泊税の議論が大詰めを向かえている。	今後の検討事項となりますが、「総合的な推進体制の構築」の中に、何らかの記載が必要であると考えます。
11	ジャパンレールパス(JR)で動く外国人は、そのマップに載っているところの中でどこに行くか選択する。欧米を視野に入れるなら、その選択肢の中に入る手立てが必要。	戦略の方向性と合わせて、プロモーションの中で検討していく事項だと考えます。
12	市域全体に観光を広げていくという意図があるのであれば、市内の「地区別観光振興の方向性」のようなものがあつた方が良い。景観計画の地区別景観整備の方向性みたいなもの。	今後の観光戦略会議及び専門部会の議論を踏まえて検討します。